

第5回あゆ王国高知振興ビジョン推進協議会 議事概要

■開催日時：令和6年2月8日（木）9:30～12:00

■開催場所：高知会館 飛鳥

■出席委員：黒笹会長、岡村副会長、坪井委員、百田委員、岡林委員、藤本委員、西脇委員、林委員、西内委員、吉村委員、門田委員

■議事：

(1) 本年度の取組状況（資料1に基づき県、市町村から説明）

○観光、高知県への集客に関する意見

- ・県の観光政策について、「どっぷり高知旅」コンセプトを”極上の田舎、高知”で進めていくとのことであるが、高知県にどっぷりと滞在させるためには、人と人のつながりを形成できる人材が必要になると考えられる。（黒笹会長）
- ・あゆのしゃくり漁は素人には難しく、またローカルな漁法であり広くは知られていないが、非常に面白い。このため、大人の観光体験メニューの中にしゃくり漁を取り込み、しゃくり漁の上手な地元インストラクターが指導することで力強いメニューになると考える。また、友釣りだけではなく、しゃくり漁の良さにも注目していただきたいと考える。（黒笹会長）
- ・高知県では遊漁券（一日券）の売上げが少ないとのことで、一日券の売上げを伸ばすには県外等の遠方の人を呼ぶ必要があると思う。この場合、釣り場の水位を示すだけでなく、釣り場の河川状況を見て、川に来たい人もいるのではないかと思う。このため、一つのホームページで情報を得ることができれば、もっとお客さんが来るのではないかと感じた。（岡林委員）
- ・仁淀川でリバーアクティビティを含め、河川で遊ぶ人たちが増えてきているが、去年はトラブルが3～4件発生しており、遊んでいる人や、釣り人から苦情がきている。河川をみんなで共有して楽しく遊べるようにするため、県にも協力をお願いしたいと考えている。（吉村委員）

○情報発信に関する意見

- ・県内で実施されているあゆに関するイベント、大会等について、インターネットの検索でヒットしないため、県外の方から直接連絡を受ける場合がある。せっかくイベント等を実施するならば、検索にヒットするようにしないと損なうと思う。また、「どっぷり高知旅」についても「高知観光」や「高知体験」で検索しても上位に表示されるようにする必要があると思う。（西脇委員）
- ・インバウンドの人気ランキングは、京都府、北海道、青森県であり、青森県はSNSに力を入れている。高知のあゆに関しても、SNSに力を入れ情報発信に取り組んでもらいたい。（坪井委員）

○ふるさと納税に関する意見

- ・あゆで有名な岐阜県郡上市のふるさと納税の返礼品において、2番目に人気なのが遊漁券（年券）である。税収としても大きいことから、ぜひとも遊漁券をふるさと納税の返礼品にしていただければと思う。（坪井委員）
- ・遊漁券をふるさと納税の返礼品にすることについて、いい取組だと思うので、仁淀川流域の

各市町村にお願いしたい。(吉村委員)

○子供が河川に親しむ機会作りに関する意見

- ・漁協と学校関係者が協力して、子供達が川遊びや川漁などを通じて川に親しむ環境作りを後押ししてほしいと思う。(林委員)
- ・体験型の教育コンテンツについて、一步踏み込んだ形で、中学校共同で川づくりに取り組むような話もある。(坪井委員)
- ・河川環境の問題が気にかかる。きれいな水、きれいな環境の中で魚が育って、それらに子供たちが集まり、子供たちが成長して、河川を支えるようになる段階を踏むため、環境問題だけではなく、環境を守る教育が必要だと考える。(藤本委員)

○環境保全に関する意見

- ・漁業協同組合連合会の理事会で河川環境について議論があり、河川環境が良いといわれる黒尊川でも、川が汚れかかっていると言うことを研究者の方から聞いているため、環境問題について考えていただきたいと思う。また、仁淀川では、間伐の作業道から、たくさんの泥が川に流れてしまい、河床が目詰まりにより固くなるアーマー化現象が発生し、動植物が河川で住めなくなっている。河川環境を守るために、山、川を守ることも全体で考えていただきたい。(吉村委員)
- ・河川環境が悪化しているので、河川だけではなく、森林も守ってもらいたいと思う。(門田委員)

○その他意見

- ・事業を実施するとなると費用が発生する。他の事業では補助金等の支援があったので、県産天然あゆに関する振興について、何かしら補助金等の支援がないのかと考える。(門田委員)

(2) 作業部会の取組状況(資料2～4に基づき事務局から説明)

- 県・市町村・漁協等の取組に対するの委員からの主な意見
特になし

(3) 第2期あゆ王国高知振興ビジョンのパブリックコメントへの対応(資料5に基づき事務局から説明)

- 改訂案に対するの委員からの主な意見
特になし

(4) 第2期あゆ王国高知振興ビジョンの最終案(資料6、7に基づき事務局から説明)

- 最終案に対するの委員からの主な意見
- ・目標値として、遊漁券の販売数(令和4年度11,919件)が記載されているが、「あゆ王国振興ビジョン」としては、県外からの誘客が大切だと思うので、遊漁券の販売数の内訳(県内と県外)があれば調べてほしい。(吉村委員)

以上